

島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会令和4年度定例総会

日時：令和5年3月28日（火）14:00～15:30

会場：松江市 島根県市町村振興センター大会議室

1 報告事項

第1号報告 令和4年度事業報告 P2～25

第2号報告 島根半島・宍道湖中海ジオパークアクションプラン重点取組とKPI
（重要業績評価指標）の令和4年度進捗状況 P26～28

第3号報告 令和4年度一般会計決算見込 P29

2 議案

第1号議案 令和5年度事業計画（案） P30, 31

第2号議案 令和5年度一般会計予算（案） P32

3 その他

E

島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会令和4年度定例総会出欠表

(敬称略)

推進協議会 役職名	部会	選出分野	所 属	氏 名	出欠	代理出席者の場合の 役職・氏名	
会長			松江市長	上定 昭仁	○		
副会長			出雲市長	飯塚 俊之	○		
〃			松江商工会議所 会頭	田部 長右衛門	×		
〃 (会長代行)			国立大学法人島根大学 名誉教授	小林 祥泰	○		
会員	学術・研究 □部会	ジオ環境研究 分野	国立大学法人島根大学学術研究院環境システム科学系 教授	入月 俊明	○		
			島根県地学会 会長	永井 泰	○		
			島根県立三瓶自然館サヒメル 学芸課長	井上 雅仁	○		
			国立大学法人島根大学 非常勤講師	佐藤 仁志	○		
			島根県埋蔵文化財調査センター所長	熱田 貴保	○		
			出雲大社 権宮司	千家 和比古	×		
		歴史・神話・ 文化分野	一畑薬師管長	飯塚 大幸	×		
			荒神谷博物館 館長	藤岡 大拙	×		
			島根県立古代出雲歴史博物館 館長	多根 純	×		
			島根県立八雲立つ風土記の丘 所長	高屋 茂男	○		
	山陰万葉を歩く会、風土記を訪ねる会 会長		川島 芙美子	○			
	小泉八雲記念館 館長		小泉 凡	○			
	観光・広報 □部会		旅行・交通 分野	西日本旅客鉄道株式会社山陰支社山陰地域振興本部 副本部長	和田 昇司	○	担当課長 三島 稔
				一畑電気鉄道株式会社 代表取締役社長	足達 明彦	○	経営戦略部担当部長 岡 和之
			マスメディア・ 圏域メディア 分野	山陰中央テレビジョン放送株式会社 代表取締役社長	田部 長右衛門	○	取締役 事業プロデュース局長 山田 英治
				NHK松江放送局 局長	増田 智子	×	
				株式会社山陰放送 代表取締役社長	坂口 吉平	○	執行役員 営業局長 (鳥取県・島根県エリア担当) 平尾 勇人
				日本海テレビジョン放送株式会社 代表取締役社長	田口 晃也	○	執行役員 島根総局長 山尾 義己
				株式会社山陰中央新報社 代表取締役社長	松尾 倫男	×	
				山陰ケーブルビジョン株式会社 代表取締役社長	石原 俊太郎	○	取締役専務 原田 光明
		出雲ケーブルビジョン株式会社 代表取締役		今岡 余一良	○	技術制作部長 金山 央一郎	
		株式会社島根日日新聞 代表取締役		菊地 恵介	×		
		商工観光分野	出雲商工会議所 会頭	福間 正純	×		
			平田商工会議所 会頭	大谷 厚郎	×		
			まつえ北商工会 会長 (まつえ南商工会、東出雲商工会含む)	横原 顯	○	事務局長 蔭谷 宏	
			出雲商工会 会長	山崎 茂樹	×		
			斐川町商工会 会長	植田 登志雄	○	事務局長 陰山 篤也	
			一般社団法人松江観光協会 常務理事	錦織 裕司	×		
	一般社団法人松江観光協会美保関町支部 事務局長		安達 修一	○			
	一般社団法人出雲観光協会 会長		田邊 達也	×			
農林水産業・ 食品関連分野	島根県農業協同組合 代表理事組合長	石川 寿樹	×				
	漁業協同組合JFしまね 代表理事会長	岸 宏	×				
	株式会社田部 代表取締役社長	田部 長右衛門	×				
保全・教育 □部会	環境保全・防災 分野	中国電力株式会社 島根支社 常務執行役員島根支社長	天野 浩一	○	広報グループ副長 福永 満敏		
		国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所 所長	小谷 哲也	○	副所長 大賀 祥一		
		環境省大山隠岐国立公園松江管理官事務所国立公園管理官	宮本 有樹	○	国立公園管理官補佐 谷田 拓海		
	地域活動分野	松江市公民館長会代表 島根公民館長	田中 豊	○			
		出雲市コミュニティセンター長会代表 佐香コミュニティセンター長	服部 昌幸	○			
		Sustainable lab. 代表	召古 裕士	○			
		八束の遺産を守る会 会長	門脇 和也	○			
		島根半島四十二浦巡り再発見研究会 事務局長	木幡 育夫	×			
		ウミネコ生態調査専門調査員	濱田 義治	○			
		神社ガールズ研究会 会長	河野 美知	○			
		加賀まるごと博物館 代表	船本 力	○			
		宍道湖魚類研究会 代表	桑原 弘道	○			
		ミュージアム連携分野 (教育分野)	国立大学法人島根大学教育学部自然環境教育専攻 教授	栢野 彰秀	×		
	国立大学法人島根大学大学院教育学研究科院 教授		松本 一郎	○			
	国立大学法人島根大学教育学部理科教育専攻 講師		辻本 彰	○			
	松江工業高等専門学校 副校長		高尾 学	○	副校長補佐 周藤 将司		
	島根県立宍道湖自然館ゴビウス 館長		中畑 勝見	○			
	出雲科学館 館長		鬼村 修治	○			
	モニュメント・ミュージアム来待ストーン 学芸員		古川 寛子	○			
	監事		松江市 会計管理者	杉谷 薫	×		
		出雲市 会計管理者	馬庭 伸二	×			

第1号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会 令和4年度事業報告

令和4年度に策定した令和7年度までの4年間を計画期間とする「島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）」にもとづき、令和3年度日本ジオパーク再認定審査での指摘事項への対応をはじめとする事業に着実に取り組んだ。

令和4年度の活動については、調査・研究・交流事業として、日本ジオパークネットワーク関係では、3年ぶりの対面開催となった「第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会」に参加したほか、日本ジオパークネットワーク通常総会や上定ジオパーク推進協議会会長（松江市長）が取組発表を行ったジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会、栗駒山麓ジオパークでの全国研修会に参加するとともに、中四国近畿ブロックや隠岐と山陰海岸との3ジオパークによる研修会などに参加した。

また、8月に行われた「第9回国際地球科学教育会議」では、上定会長の動画メッセージの上映や、分科会での発表を通じて当ジオパークの活動を国内外に発信するとともに、現地では当地を巡るジオツアーを催行した。

広報・宣伝事業では、年4回の「会報誌」発行や「子ども向けパンフレット」の制作に新たに取り組むとともに、当ジオパークの視認性を高めるため、松江市の新大橋北詰や出雲市平田町に新たに看板を設置した。

また、「第28回2022えびす・だいこく100kmマラソン」では、当ジオパーク推進協議会として協賛するとともに、日本ジオパーク再認定を記念し、上定会長から飯塚ジオパーク推進協議会副会長（出雲市長）にタスキを渡すパフォーマンスを行い、本マラソンでPRした。

「ジオパークの日イベント」では、イオン松江ショッピングセンターやアトネスいずもなどでのPRに取り組んだ。

普及啓発・教育活動では、会場とオンライン配信による「防災・減災シンポジウム」を開催するとともに、平成31年度に認定したジオガイドが初めて4年間の認定期間を満了することから更新のための研修会を開催するなど、ジオガイドの養成やスキルアップに取り組んだ。また、桂島での観光公害への対応として注意喚起看板を設置した。

一方、小学校におけるジオパーク授業については、出雲市の小伊津海岸での授業は、昨年の大雨や台風の影響により落石の危険性があり取り止めたことから、バス借り上げ料の補助金は昨年に比べて6校少ない実績となった。

ジオパーク活動を推進するにあたり、半島振興広域連携促進事業費補助金や島根県自然公園を活用した誘客促進補助金、ジオパークサポーター会費収入などを活用した。

1 管理運営

(1) 会議開催

1) 令和4年度臨時総会

当初7月15日に会場で開催する予定であったが、松江市及び出雲市において新型コロナウイルス感染症が急激に拡大しており、感染リスクを引き下げるため、書面表決に変更した。

議決日 7月25日(月)

議決された報告及び議案

①報告事項

第1号報告 令和4年度中間事業報告

②議案

第1号議案 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会
令和3年度一般会計決算

第2号議案 令和4年度～7年度推進行動計画(マスタープラン、アクションプラン)の策定について

第3号議案 第44回日本ジオパーク委員会審査結果通知書に対する回答について

2) 専門部会

①学術・研究部会 ※部会長 入月俊明(島根大学) 部会員11人

第1回:5月12日(木) ※書面表決に変更

第2回:2月16日(木)

②観光・広報部会 ※部会長 稲根克也(出雲観光協会) 部会員25人

第1回:5月9日(月)

第2回:2月9日(木)

③保全・教育部会 ※部会長 辻本彰(島根大学) 部会員22人

第1回:5月10日(火)

第2回:2月17日(金)

3) 幹事会

第1回:6月29日(水) 第2回:7月6日(水) 第3回:3月14日(火)

4) 事務局会議

第1回:4月27日(水) 第2回:8月25日(木)

第3回:10月4日(火) 第4回:11月8日(火)

第5回:1月19日(木) 第6回:2月13日(月)

(2) 令和4年度～7年度推進行動計画(マスタープラン、アクションプラン)の策定

臨時総会で議決いただいたことで、計画を印刷・製本し、当ジオパーク推進協議会会員や日本ジオパークネットワーク正会員・準会員などに発送するとともに、ジオパーク推進協議会のホームページに掲載している。

(印刷部数各400部、うち発送件数266件)

(3) 第44回日本ジオパーク委員会審査結果通知書に対する回答

臨時総会で議決いただいたことで、7月26日に日本ジオパーク委員会（JGC）事務局に提出した。

(4) パートナーシップ協定締結

相互に役割分担を明確にしてジオパーク活動を推進するため、3団体とパートナーシップ協定を締結した。

1) 国立大学法人島根大学

協定締結日：9月2日（金）

初めての締結のため協定締結式を執り行った。

2) 加賀まるごと博物館

協定締結日：2月20日（月）

3) 一般社団法人出雲観光協会

協定締結日：3月27日（月）



2 調査・研究・交流事業

(1) JGN（日本ジオパークネットワーク）関連会議・研修会参加状況

日程	内容	会場	参加者
5月21日（土）	JGN 運営会議	東京都	野村専門員
5月26日（木）	・JGN 通常総会 ・ジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会（上定会長が取組発表）	東京都	上定会長他3人
10月5日（水）	2022年度 第1回JGN オンライン研修会 「サステイナブルツーリズム（持続可能な観光）実践編」	—	事務局3人
10月21日（金）	・JGN 運営会議 ・JGN 全地域事務局長会議	石川県白山市	井川次長、野村専門員
10月21日（金）～23日（日）	第12回日本ジオパーク全国大会 白山手取川大会 （白山手取川ジオパーク主催）	石川県白山市	飯塚副会長他18人
11月21日（月）～23日（水）	第17回日本ジオパークネットワーク全国研修会 in 栗駒山麓 （栗駒山麓ジオパーク主催）	宮城県栗原市	植田事務局員 前田ガイド
2月7日（火）	JGN 中四国近畿ブロック研修会 （土佐清水ジオパーク主催）	高知県土佐清水市	福田事務局員 召古・渡邊ガイド
3月1日（水）	2022年度 第2回JGN オンライン研修会 「ジェンダー平等にどう取り組むか～日本のジェンダー政策から考える」	—	永田事務局員



ジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会



日本ジオパーク全国大会



JGN 全国研修会 in 栗駒山麓

(2) 広域連携事業

日程	内容	会場	参加者
2月28日(火)、 3月1日(水)	隠岐、山陰海岸、島根半島・宍道湖中海ジオパーク合同研修会	隠岐	北原・小灘ガイド
3月5日(日)	BSS ラジオ「中四国ライブネット」出演	BSS 本社 (米子市)	召古ガイド 永見輝晃氏(島根町漁師)

(3) 第9回国際地球科学教育会議

「第9回国際地球科学教育会議」と「第76回日本地学教育学会全国大会島根大会」が同時開催された。上定会長が事前録画した動画メッセージを8月22日(月)に会場で上映した。

会期：8月21日(日)～24日(水)

会場：くにびきメッセ

第9回国際地学教育会議大会実行委員会：実行委員長 松本 一郎氏(島根大学)

参加人数：400人(日本人225人、外国人175人)

主なプログラム：

①講演 ※野村専門員が第76回日本地学教育学会全国大会島根大会で基調講演を行った

②口頭発表 ※島根半島・宍道湖中海ジオパークとして柏井事務局員が発表

③巡検 会議前後と会期中に6本実施された

④ジオパーク推進協議会がオプションツアーを催行した

催行日時：8月24日(水)午後

ツアー先・参加者数：「松江城、堀川遊覧船・3人参加」

「島根町小波海岸・5人参加」



上定会長の動画メッセージ



小波海岸でのオプションツアー

(4) ジオサイトのモニタリング

令和5年度にジオサイトの保全管理計画を策定する予定であり、モニタリングの実施も本計画に盛り込む予定である。このため、今年度ジオサイトのモニタリングを試行実施し、検証した上で計画に盛り込むことにした。

1) モニタリング実施者：出雲国ジオガイドの会

2) 令和4年度モニタリング試行実施ジオサイト(6ヶ所)

島根半島エリア(①桂島、②法田海岸の海食棚)

出雲平野・宍道湖中海エリア(③稲佐の浜、④斐伊川)

南部丘陵山地エリア(⑤立久恵峡、⑥茶臼山)

(5) ジオサイトの見直し

当ジオパークは平成 29 年度にジオサイトを 67 ヶ所設定しているが、令和 3 年度の日本ジオパーク再認定審査で「ジオサイトは貴重な地質・地形遺産を設定すべきでその価値を改めて確認する必要がある」と助言を受けた。また、地域の皆様など多くの方々からは、ジオサイトは探訪を目的としているが、落石など危険が想定される場所や、離島のため渡ることができない場所が設定されており、探訪できないという意見をいただいていた。

このような意見をふまえ、学術・研究部会などでの意見をふまえ、ジオサイトを整理、統合するなどの見直しを行った。

【平成 29 年度設定】

ジオサイト (67)



【令和 4 年度見直し】

ジオサイト (49) ※地質遺産の価値を説明するための地質学的に重要な地点 (サイト) ※地点のもつ意義について右記の 3 サイトに区分して扱う	内 訳	探訪ジオサイト (33) ※地質遺産について探訪し、学び、教育・研究活動できる地点 探検ジオサイト (9) ※探訪サイトに準じるが、特別な経験やガイド者の同行、装備が必要な場合など、現状としてある程度の困難が伴う地点 眺望ジオサイト (7) ※アクセスが困難または容易でないジオサイトについて、眺望し学ぶ地点
--	--------	---

新	文化サイト ※地質遺産内に生活する人々の営みの跡、歴史など
新	生態サイト ※動植物のなかで生態的特徴のあるもの

※文化サイトと生態サイトは、今後新たに指定していく。

(6) オンラインシンポジウム『ジオパーク地域に伝わる伝承と地質学：古代からの自然観を今に活かす』

日時：1 月 28 日 (土) 10:00～14:25

主催：日本地質学会

共催：日本ジオパークネットワーク (JGN)・日本ジオパーク学術支援連合 (JGASU)

内容：野村専門員による「Geomythology (地球神話) をジオパーク活動にもっと活かそう」発表ほか

3 広報・宣伝事業

- (1) 第28回2022 えびす・だいこく 100km マラソンの協賛、PRイベント開催
当ジオパーク推進協議会も協賛するとともに、日本ジオパーク再認定を記念し、上定会長から飯塚副会長にタスキを渡すパフォーマンスを行い、本マラソンをPRした。

日程：5月29日（日）

マラソンコース：美保神社前スタート～出雲大社・交通広場ゴール

タスキ渡し会場：出雲市平田エイドステーション



上定会長から飯塚副会長にタスキを渡す



タスキを受け走る飯塚副会長

- (2) 島根半島・宍道湖中海ジオパークポロシャツの販売
今年度は、ジオ吉田くんを胸にプリントした特別仕様のデザインで作成した。
販売価格：1,600円（税込）
販売数：646着（前年比123着増）

- (3) ジオパクッ！～つくって感じるジオパーク～
ジオパークの普及のため、ショッピングセンターで体験教室や展示を行った。
テーマ：ジオパーク×環境保全×SDGs、ジオパーク×和菓子×SDGs
日程：7月30日（土）、7月31日（日）
会場：イオン松江ショッピングセンター
内容：①小学生以下対象の貝殻を使ったアクセサリ作り教室
全5回 参加者数70人
②小学生以下対象のジオパーク和菓子作り教室
全7回 参加者数87人
③ジオパークオリジナル動画上映
④ジオパーク展示コーナー

- (4) 「ジオパークの日」記念イベント

1) ジオパークの日を記念したイベントを4会場で開催し、ジオパークの普及を行った。

日程：8月20日（土）、8月21日（日）

内容：①イオン松江ショッピングセンター

- ・小学生以下対象の貝殻を使ったアクセサリ作り教室（8月20日のみ）
全5回 参加者数38人
- ・小学生以下対象のジオパーク和菓子作り教室（8月21日のみ）
全7回 参加者数51人
- ・ジオパークオリジナル動画上映
- ・ジオパーク展示コーナー

②アトネスいずも

- ・小学生以下対象のカラフル化石のレプリカをつくろう
参加者数 59 人
- ・ジオパークオリジナル動画上映
- ・ジオパーク展示コーナー

③松江ビジターセンター、④日御碕ビジターセンター

- ・ジオパークオリジナルグッズプレゼント



イオン松江ショッピングセンター



アトネスいずも

2) イベント告知

出雲ケーブルビジョンの取材を受け、当ジオパークのPRと「ジオパークの日」記念イベントの告知を行った。

8月中旬から1週間程度リピート放送された。

出演者：永田事務局員、植田事務局員



3) ジオパークポロシャツ着用での勤務

記念日当日の8月22日は、両市長をはじめ松江市・出雲市職員がジオパークポロシャツを着用して勤務し、市民へのPRを行った。

(5) 市報松江8月号及び広報いずも8月号での記事掲載

松江市・出雲市両市の広報誌にジオパークの日PRや紹介記事を掲載した。



市報松江8月号



広報いずも8月号

(6) 大根島ジオカードの設置場所の変更

当ジオパークPRのため平成30年度にジオカードを製作しており、ノーマルカード3枚を収集した方にレアカード2枚を配布している。

ノーマルカードの一つである「大根島カード」は、松江市八束町の溶岩トンネルで活動を行っている門脇和也ジオガイドに配布してもらっていたが、令和4年9月末をもってガイド活動を休止されたことから、10月からは同じ八束町内の「中村元記念館」で配布いただくことになった。

※島根半島・宍道湖中海ジオパークカードについて

1) ノーマルカード

- ①日御碕（配布先：日御碕ビジターセンター）
- ②加賀の潜戸（配布先：松江ビジターセンター）
- ③大根島（配布先：中村元記念館）

2) レアカード(ノーマルカード3枚をすべて集めると配布する)

- ①中四国近畿ブロック
- ②水

(7) 2023（第40回記念）出雲くにびきマラソン大会の協賛

地域のスポーツイベント支援として本マラソン大会を協賛し、プログラムに協賛広告を掲載した。

開催日：3月5日（日）

(8) 看板整備

1) ジオパークに入ったことが分かる視認性向上のための看板設置（3枚）



JR 松江駅 懸垂幕



松江市東本町 新大橋北詰め



出雲市平田町 国道431号線沿い

2) 来訪者への注意喚起看板設置（2枚）

環境省松江管理官事務所を通じて株式会社山陰合同銀行からいただいた寄付金を活用し、桂島園地内（松江市島根町）における植生保護やごみの持ち帰りなどの注意喚起を図る看板を設置した。



松江市島根町 桂島のトイレ壁面



松江市島根町 桂島入口（加賀漁港防波堤）

(9) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク通信（会報誌）の発行

当ジオパークの活動を情報発信するため、ジオパーク推進協議会会員やジオガイド、全国のジオパークなどに4回発送した。

発行月：Vol.1：7月、Vol.2：9月、Vol.3：12月 Vol.4：2月

印刷部数：各号3,000部



- (10) 子ども用ジオパークパンフレット制作
 小学校高学年を対象にジオパークに関心を持ってもらえるパンフレットを制作した。
 制作部数：3,000部
- (11) ビジターセンター来場者数
 1) 松江ビジターセンター
 令和4年4月～令和5年2月末 4,255人
 (令和3年4月～令和4年3月実績4,554人)
 2) 日御碕ビジターセンター
 令和4年4月～令和5年2月末 16,232人
 (令和3年4月～令和4年3月実績16,389人)
- (12) GEOPARK magazine 2023 Vol.10 への記事掲載
 掲載内容：①ガイドと旅するジオパーク（日御碕でのトレッキング紹介）
 ②ジオガイド紹介（朝倉利明ジオガイド）
 ③大根島クラフトビール紹介
 ④読者プレゼント提供（クラフトビールとスモーク詰め合わせ）
- (13) パンフレット設置等の情報発信コーナー設置箇所
 ・松江ビジターセンター、松江市役所、松江市市民活動センター、JR松江駅松江国際観光案内所、七類港フェリーのりば、道の駅
 ・日御碕ビジターセンター、出雲市役所、出雲科学館、アトネスいずも、JR出雲市駅観光案内所、出雲縁結び空港、道の駅

4 普及啓発・教育活動

- (1) 島根半島・宍道湖中海ジオパークサポーター「ジオサポ！」加入状況
 会費 個人 一口1,000円 企業・団体 一口10,000円
 ・個人会員数（2月末時点） 399人（前年比：43人増）
 ・企業会員数（2月末時点） 5社（前年比：1社増）
- (2) 桂島体験プログラム「ジオパーク探検隊」の実施について
 開催日：7月30日（土）・31日（日）、8月20日（土）・21日（日）
 目的：松江市島根町の桂島で、子どもたちに大地と生き物、人間生活の深い関りを五感（観る、聴く、嗅ぐ、味わう、触る）で体感してもらうことで、自然環境を守り、将来に伝えていくことの大切さを認識してもらう。
 参加対象者：小学校高学年・中学生とその保護者
 参加人数：4日間合計36組80人
 プログラム：

時間帯	内容	会場
9:30	集合 オリエンテーション開始	松江ビジターセンター
午前	海底火山の体験学習 海辺の生き物観察	桂島
昼食	貝類の調理見学と食体験	島根公民館
午後	海のアクセサリ―またはジオラマ作り	



桂島での学習



ジオラマづくり

(3) 島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成、スキルアップ関係

1) 養成講座、認定試験

①島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成初級講座

(はじめの一步コース)

申込者数：23人

受講方法：会場受講、オンライン受講、録画動画視聴
のいずれか

修了者数（第1回～6回すべて受講した方）：9人

内容：



松江市市民活動センターでの講座

	日程	内容	会場	講師	参加者数
第1回	8月6日(土)	島根半島・宍道湖中海ジオパークとは?	出雲市役所く にびきホール	島根大学学術研究院 環境システム科学系 入月 俊明 教授	会場2 オンライン4 録画動画視聴12
第2回	8月6日(土)	ジオパークの理 念と保護保全		島根大学大学院 教育学研究科 教育実践開発専攻 松本 一郎 教授	
第3回	8月28日(日)	島根半島・宍道湖中海ジオパークの植物	松江市市民活 動センター	島根県立三瓶自然館 サヘル 井上 雅仁 学芸員	会場4 オンライン1 録画動画視聴11
第4回	8月28日(日)	国引き神話と文 化サイト		島根大学総合博物館 会下 和宏 副館長	
第5回	9月3日(土)	フィールドワーク (日御碕)	日御碕ビジタ ーセンター	島根大学教育学部 辻本 彰 講師	会場14
第6回	9月17日(土)	フィールドワーク (桂島)	松江ビジター センター	島根大学学術研究院 環境システム科学系 大平 寛人 准教授	会場15

②島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド養成上級講座(認定ガイドコース)

申込者数：12人

受講方法：第7回は会場受講が必須、その他は
録画動画視聴も可

修了者数（第1回と第2回のいずれか、及び
第3回～7回すべて受講した方）：8人



美保関でのフィールドワーク

内容：

	日程	内容	会場	講師	参加者数
第1回	12月10日(土)	フィールドワーク (出雲)	築地松・木綿街道・ 奉納山・稲佐の浜	三代ジオガイド 瀬崎築地松ガイド	会場5
第2回	12月18日(日)	フィールドワーク (松江)	美保関灯台・小波	召古・朝倉ジオガイ ド	会場8
第3回	1月21日(土)ま でに視聴	ユネスコ世界ジ オパーク概説	Youtube 動画視聴		—
第4回	1月7日(土)	当ジオパークの 動植物	松江市市民活動セ ンター	日本野鳥の会副会 長 佐藤仁志 氏	会場10
第5回		国立公園・自然 保護について		環境省松江管理官 事務所 宮本有樹 氏	
第6回	1月21日(土)	ガイドで役立つ 地形・地質・岩石 の基本	松江市市民活動セ ンター	島根大学教授 入月俊明 氏	会場8
第7回		ジオストーリーに ついて考えるワ ークショップ		日本ジオツーリズム 協会会長 福島大輔 氏	

③島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド認定試験

受験対象者：ジオガイド養成講座「はじめの一步コース」および「認定ガイド
コース」修了者で普通救命講習を修了している方

日時・会場：2月18日(土) 松江市市民活動センター503・506
2月19日(日) 出東コミュニティセンター

受験人数：7人(内訳 松江会場での受験5人 出雲会場での受験2人)

合格者数：7人

認定期間：令和5年4月1日～令和9年3月31日

2) スキルアップ講座

日時：12月4日(日) 13:30～16:00

会場：出東コミュニティセンター研修室(出雲市斐川町三分市2060-1)

参加者数：20人

内容：①テーマ1 防災・減災 13:30～15:00

講師 株式会社藤井基礎設計事務所

代表取締役社長 藤井 俊逸 氏

講演内容 「模型実験で学ぶ土砂災害と対策工法」

②テーマ2 気候変動への対応 15:15～16:00

講師 島根県気候変動適応センター

講演内容 ・全国、島根における気候変動の影響

・気候変動に対処するための、温室効果ガスの
排出削減である「緩和策」、被害を回避・軽
減する「適応策」について

3) 認定更新研修

ジオガイドの認定期間は4年間としており、今年度末で認定期間が満了となるジ
オガイドは、本人の意向確認を行った上で、研修の受講を経て更新することにした。

対象者：26人（認定期間 平成31年4月1日～令和5年3月31日）
うち更新希望21人、更新せず5人
更新後の認定期間：令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間）
更新研修内容：

①日時：1月28日（土）14時～16時
会場：大雪のためオンライン開催に変更
内容：ユネスコ世界ジオパークの理念や活動状況
講師：高知大学人文社会科学系人文社会科学部門
講師 新名 阿津子 氏
参加人数：9人
後日動画視聴人数：12人

②日時：2月4日（土）13時～16時10分
会場：出雲市出東コミュニティセンター研修室
参加人数：16人
後日動画視聴人数：5人
内容：

・研修1 13時～14時30分

内容：島根半島・宍道湖中海ジオパークの地質・地形

講師：島根半島・宍道湖中海ジオパーク 野村専門員

・研修2 14時40分～16時10分

内容：島根半島・宍道湖中海ジオパークの生態系、歴史・文化

講師：島根半島・宍道湖中海ジオパーク事務局 三代事務局長



三代事務局長の講演

（4）島根半島・宍道湖中海ジオパーク防災・減災シンポジウム

日時：12月17日（土）12:00～17:00

会場：くにびきメッセ多目的ホール

目的：①ジオパークの防災・減災への関わりについて普及

②地域住民の防災・減災に対する意識の向上

③防災・減災を通じた持続可能な地域づくりの推進

テーマ：地域防災力の向上～ジオパークを生かした自然災害への備え～

開催方法：会場とYouTubeライブ配信

参加者数：100人

YouTubeライブ視聴回数：44回

内容：○講演・パネルディスカッション 13:30～16:50

・基調講演：つながる力で地域防災力向上～ジオパークとの連携術
＝地元の大いさと人を愛しみ、心地よく暮らすために＝
講師：時事通信社 解説委員 中川 和之 氏

・パネルディスカッション

各分野での取組事例、ジオパークを生かした自然災害への備え

ファシリテーター：時事通信社 解説委員 中川 和之 氏

パネリスト：

	団体区分	パネリスト	災害区分
1	先進ジオパーク	三陸ジオパーク認定ガイド 千田 房代 氏 (東日本大震災津波伝承館 解説員)	津波災害
2	教育機関	島根大学総合理工学部 地球科学科 准教授 向吉 秀樹 氏	地震災害
3	地域団体	出雲市総合ボランティアセンター運営委員会 委員 石橋 健一 氏	水害
4	企 業	株式会社藤井基礎設計事務所 代表取締役社長 藤井 俊逸 氏	土砂災害
5	行 政	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク 推進協議会 会長 上定 昭仁（松江市長）	全般

○ブース出展 12:00～17:00

	団体名	出展内容
1	株式会社藤井基礎設計事務所	崖崩れ、地すべりの発生する理由と対策方法を 模型で説明。
2	島根大学自然災害軽減教育研 究センター	津波に関するパネル展示、シミュレーション動 画の公開
3	陸上自衛隊出雲駐屯地	軽装甲機動車の展示
4	国土交通省出雲河川事務所	斐伊川の防災・減災対策（浸水シミュレーショ ン検索システムや種々の防災情報）
5	一般社団法人島根県産業・防 災ドローン協議会	災害時に使用するドローンの展示
6	島根半島四十二浦巡り再発見 研究会	①2023年四十二浦巡りカレンダーの原画・写真 展示 ②四十二浦巡りマップ展示・配布（無料）等 ③ガイドブック等販売
7	BNS協同組合	ジオブランド商品販売（くろもじ茶、くろもじ 香り水）
8	八百万マーケット	ジオブランド商品販売（鯖の塩辛、神事（かみ わざ）おだし、めかぶのサラダ（ドレッシング）、 赤貝めしの素、鶉鷲（うさぎ）の藻塩）
9	松江市防災部・出雲市防災安 全部	①過去の自然災害事例のパネル展示 ②非常持ち出し品の展示・説明 ③防災用備蓄食料品の配布 ④防災出前講座・ジオパーク出張所
10	出雲市消防本部	けがの応急処置と傷病者搬送方法、救急医療体 制の紹介の展示、動画上映
11	松江市消防本部	消防音楽隊の演奏、団員募集
12	出雲国ジオガイドの会	出雲国ジオガイドの会の活動紹介
13	島根半島・宍道湖中海（国引 き）ジオパーク推進協議会	GEO 吉田くんアニメ動画上映、タペストリー・ パンフの展示



パネルディスカッション



ブース出展

(5) 島根半島・宍道湖中海ジオパーク学術研究奨励事業補助金

島根半島・宍道湖中海ジオパークにかかわる調査研究に対して補助金を交付した。

・交付決定した件数：2件（前年度比2件減） ・補助金合計：200,000円

	研究者名	内容	交付額
1	松江工業高等専門学校 鳥谷智文 杉谷真理子	島根半島・宍道湖中海ジオパーク地域の人々の生業と、それに関わる景観の特徴	100,000円
2	松江工業高等専門学校 山口 剛士	宍道湖及びシジミに対するマイクロプラスチックの影響調査	100,000円

(6) 普及啓発事業等補助金・推進環境整備事業補助金

住民団体、自治会、NPO等が行う島根半島・宍道湖中海ジオパークの普及啓発活動及び看板の製作、既存看板の刷新等の環境事業に対して補助金を交付した。

・交付決定した団体：12団体（前年度比2団体増） ・補助金合計：1,043,900円

	種別	団体名	内容	交付額
1	普及啓発	(株)伊勢宮界限元気プロジェクト	ミニドローンを使ったトレイルの魅力発見！！	100,000
2	普及啓発	八束の遺産を守る会	八束町の溶岩洞窟や島根半島・宍道湖中海ジオパーク紹介チラシ作成	53,900
3	普及啓発	神社ガールズ研究会	ジオパークの魅力を発信～迫力あるジオサイトの撮り方を学ぶ～	100,000
4	普及啓発	島根半島四十二浦巡り再発見研究会	神話とジオの散歩道「県立自然公園一畑薬師周辺を巡る」DVD製作事業	100,000
5	普及啓発	一般社団法人 出雲観光協会	日御碕自然体感プログラム 広告宣伝用折込みちらし作成	100,000
6	普及啓発	肉肉椎茸	島根半島四十二浦 3days 逆打ち	100,000
7	普及啓発	出雲市環境保全連合会 荒木支部	～島根半島・宍道湖中海ジオパーク講演会～ 神話が生んだ島根半島の魅力と国引きジオパーク 講師：野村専門員	40,000
8	普及啓発	出雲天社かたりべガイドの会	くにびき神話（挾田の國）のジオパーク視察研修	100,000
9	普及啓発	出雲国ジオガイドの会	桂島定時ガイドと謎解きラリーイベント	100,000
10	推進環境	加賀まるごと博物館	桂島フィールドミュージアム構想「桂島のジオパーク学習 桂島の草花編」パネルの作成	100,000
11	普及啓発	鹿島 shi 結女	「鹿島癒しの禊ツアー」リーフレット増刷事業	50,000
12	普及啓発	千酌区自治会	千酌海岸清掃事業	100,000

(7) 学校におけるジオパーク授業バス借上料補助金

松江市及び出雲市管内の学校におけるジオパーク授業への活動支援としてバス借り上げ料を補助した。

当初 27校から補助金申請があったが、授業の会場の一つである小伊津海岸（出雲市）で落石の危険性が生じたため、当ジオパーク推進協議会から小伊津海岸で学習を予定していた学校に須々海海岸（松江市）への会場変更を推奨したものの、7校は中止とされた。

・交付決定した学校：20校（前年度比6校減）
・参加児童数：1,759人 ・補助金合計：2,874,500円

		学校名	参加児童数	交付額
松江市 17校	1	恵曇小学校	13人	38,500円
	2	佐太小学校	30人	102,300円
	3	法吉小学校	157人	193,600円
	4	義務教育学校八束学園	50人	133,390円
	5	朝酌小学校	11人	39,270円
	6	持田小学校	42人	51,700円
	7	母衣小学校	80人	99,000円
	8	内中原小学校	119人	222,640円

	9	中央小学校	105人	248,600円
	10	乃木小学校	323人	250,000円
	11	忌部小学校	39人	86,900円
	12	宍道小学校	50人	143,000円
	13	津田小学校	238人	250,000円
	14	竹矢小学校	96人	191,400円
	15	意東小学校	66人	92,400円
	16	出雲郷小学校	161人	250,000円
	17	島根大学附属義務教育学校	108人	231,000円
出雲市 3校	18	伊野小学校	10人	56,100円
	19	大社小学校	47人	134,200円
	20	多伎小学校	14人	60,500円
合 計			1,759人	2,874,500円

※参考 出雲市の小中学校は、教育委員会所有のバスを利用し、ジオパーク学習に取り組んでいる。

実績 小学校 14校（上記3校は含まず） 中学校 4校

(8) 松江市美保関町千酌海岸用のジオパーク学習補助資料（副読本）の作成について
千酌海岸用の学習補助資料を作成し、令和5年度に印刷の上、松江市・出雲市の全小学校に配布する予定。

1) 松江市小学校理科部会によるジオパーク研修会実施

①8月5日研修会の事前視察

日時：7月26日（火）10:00～12:00

参加者：野村専門員、辻本講師、小学校理科部会教員の計4人

②松江市小学校理科部会によるジオパーク研修会

日時：8月5日（金）13:00～17:00

参加者：野村専門員、辻本講師、小学校理科部会教員の計10人

2) モデル校授業の実施

①乃木小学校

日時：9月30日（金）、10月3日（月）

対象：6年生 5クラス

児童数：172人

講師：野村専門員、辻本講師



②津田小学校

日時：10月20日（木）

対象：6年生 4クラス

児童数：121人

講師：野村専門員、辻本講師



(9) 島根半島を横断するロングトレイルコースの検討

島根半島でのロングトレイルコースの可能性を検討するため、コース検討のための調査や視察を行った。

1) 広島湾岸トレイルコース視察

視察日：7月18日（月・祝）～19日（火）

視察者：植田事務局員、三代事務局員

- (10) 全国の防災教育の現状調査
地域住民向け自然災害対策に特化した教育プログラムを作成するため、全国の防災教育の現状調査を実施した。
- (11) 八束町の溶岩トンネル（竜溪洞）等におけるガイドスキル継承のための動画撮影及びジオガイド講習会の開催について
開催日時：9月17日（土）10:00～12:00
会場：溶岩トンネル（竜溪洞）、大塚山、波入海岸
参加人数：12人
- (12) 松江市地域おこし協力隊との意見交換会等
期日：6月14日（火）
場所：松江市役所
主催：松江市定住企業立地推進課
参加者：地域おこし協力隊3人、福田・永田・植田・三代事務局員
- (13) 出前講座、講師派遣
- 1) 出雲市聴覚障害者協会「高齢者ろうあ者お茶の会」学習会
日時：4月21日（木）
会場：出雲市今市コミュニティセンター
講師：三代事務局員
参加人数：15人
 - 2) まつえ市民大学ふるさとマイスターコース（地域のリーダーを養成するコース）
日時：5月19日（木）
会場：松江市市民活動センター
講師：三代事務局員
参加人数：10人
 - 3) 久多美コミュニティセンター自主企画事業「初夏のジオとたたらの旅」
日時：6月18日（土）
会場：奥出雲たたらと刀剣館、原口の鉄穴残丘、新川跡、築地松
講師：三代事務局員
参加人数：21人
 - 4) 島根大学イノベーション創成基礎セミナー
ジオパーク推進協議会として島根町桂島でセミナーを担当
日時：7月2日（土）
会場：松江市美保関町～島根町～宍道町
講師：三代事務局員
参加人数：15人

- 5) 環境美化ボランティアグループ「やまぼうし」研修会への講師派遣
日時：9月9日（金）10:00～12:00
会場：東出雲公民館
講師：三代事務局員
参加人数：7人
- 6) 令和4年度まつえ市民大学ふるさと環境コース
大陸分裂後の美保関の大地をめぐる
日時：9月13日（火）及び15日（木）9:00～14:30
会場：松江市市民活動センター
講師：野村専門員
定員：各50人
- 7) 大社コミュニティセンター自主企画事業「日御碕・美保関灯台見学ツアー」
日時：9月23日（金、祝）
行程：大社コミセン～美保関灯台～日御碕灯台～大社コミセン
講師：三代事務局員
参加者数：15人
- 8) 松江市公民館協議会研修会
日時：9月26日（水）14:30～15:00
会場：松江ビジターセンター
内容：潜戸をめぐる遊覧体験の事前ジオパーク学習
講師：野村専門員
参加者数：29人
- 9) 魅力たっぷり日御碕散策～ジオパークと日本遺産の舞台～
出雲市生涯学習講座
日時：10月1日（土）10:00～12:00
主催：出雲市市民活動支援課
講師：吉田勝俊ジオガイド、錦織弘之ジオガイド、三代事務局員
参加者数：31人
- 10) 松江市立鹿島歴史民俗資料館主催講座
神話を生んだ島根半島の魅力を地質地形で解く
～『出雲国風土記』による古代の自然観～
日時：3月18日（土）10:30～11:30
会場：鹿島ふれあい会館
講師：野村専門員

(14) 松江市中海振興ビジョン意見交換会「魅力づくりワーキング」への参加

今年度、松江市では表題の計画を策定し、中海周辺の地域資源を活用した地域振興策を進めていくことにしており、この計画策定にあたっては、様々な関係者の皆様から中海周辺の活性化に関する意見をいただくため、意見交換会（ワークショップ）を開催した。

「地域づくり」、「仕事づくり」、「魅力づくり」の3つのワーキンググループがつくられ、この内の1つ「魅力づくり」ワーキンググループに当ジオパーク推進協議会から参加した。

ワーキンググループ委員：三代事務局員

ワーキング開催日

第1回：11月26日（土）10:00～11:40（八束公民館）

第2回：1月14日（土）10:00～12:00（美保関公民館）

5 関係団体のジオパーク活動報告

(1) 観光協会関係

1) 出雲観光協会 令和4年度 日御碕自然体感プログラム

①日御碕ビーチお掃除大作戦

日時：9月10日（土）

会場：おわし浜、日御碕漁港他（出雲市大社町）

参加者数：37人 大人：21人、中学生以下：16人

②日御碕おわし浜シーカヤック体験会

日時：8月28日（日）、10月23日（日）

会場：おわし浜

参加者数：8/28 40人 大人：28人、小学生：12人

10/23 24人 大人：20人、小学生：4人

③日御碕トレッキングツアー

日時：9月10日（土）、11月12日（土）

会場：高尾山、桁掛半島（出雲市大社町）

参加者数：9/10 8人 高尾山コース：8人

11/12 16人 高尾山コース：8人、桁掛半島コース：8人

2) 日御碕予約ガイド

ジオコース3組35人

(参考)日御碕全体（満喫、神話、夕景、ジオコース合計）29組462人



(2) 島根大学関係

1) ジオパーク学実績

ジオパーク学入門履修者：181人

ジオパーク学各論履修者：55人

ジオパーク学演習履修者：19人

ジオパーク学プログラム修了者：22人

2) 学生組織の構築と活動

島根大学大学院自然科学研究科の大学院生4人が中心になって、島根大学ジオパーク学生サポーター(SDGS)を立ち上げたところである。3月4日に行われた召古裕士ジオガイドのイベント(テーマ:ミクロの世界は神秘的な美しさ!)に参加・協力することから活動を開始した。今後は、ジオパーク学演習の履修生もSDGSに加わり、活動を持続していくようにする。

3) 島根大学総合博物館アシカル企画展「備えあれば憂いなし!山陰の自然災害」 期日:7月23日(土)~9月10日(土)

4) 令和4年度島根大学総合博物館アシカル講座第1ステージ

「学びあれば憂いなし!山陰の自然災害」(まつえ市民大学連携講座)

①島根県にも津波はやって来る!山陰地域の津波の履歴

日時:6月11日(土)

講師:酒井 哲弥(島根大学学術研究院環境システム科学系教授)

②これからの川とのお付き合い~正しく知り、正しく恐れる~

日時:7月9日(土)

講師:矢島 啓(島根大学エスチュアリー研究センター教授)

③島根県内の土砂災害の特徴について

日時:7月23日(土)

講師:小暮 哲也(島根大学学術研究院環境システム科学系准教授)

④山陰で確認されている活断層の分布と地震

日時:8月6日(土)

講師:向吉 秀樹(島根大学学術研究院環境システム科学系准教授)

⑤山陰にも大きな被害を与えた太平洋側の巨大地震

日時:8月27日(土)

講師:林 広樹(島根大学学術研究院環境システム科学系准教授)

⑥建築物の地震被害と最新の耐震建築

日時:9月10日(土)

講師:中村 豊(島根大学学術研究院環境システム科学系教授)

5) 令和4年度島根大学総合博物館アシカル講座第2ステージ

「島根半島・宍道湖中海ジオパークを学ぶ」(まつえ市民大学連携講座)

①ジオパークの宝石~弥生時代から古墳時代の出雲産玉類

日時:2月18日(土)

講師:会下 和宏(島根大学総合博物館教授)

②島根半島・宍道湖中海ジオパークのこれまでとこれから

日時:3月18日(土)

講師:辻本 彰(島根大学学術研究院教育学系講師)

③宍道湖周辺の地熱・鉱物資源

日時:3月25日(土)

講師:大平 寛人(島根大学学術研究院環境システム科学系准教授)

- 6) 島根大学総合博物館 第16回島根まるごとミュージアム体験ツアー
「出雲大社の境外社に参拝する」
日時：10月16日（日）
講師：会下 和宏（島根大学総合博物館教授）
- 7) 島根大学総合博物館 親子で学ぶ子どもミュージアム体験教室
「中海の藻場にすむ生き物を観察しよう！」
日時：8月5日（金）
講師：倉田 健吾（島根大学学術研究院環境システム科学系准教授）
- 8) シンポジウム・市民講座・市民教育等講師実績
①出雲科学館主催の企画展「出雲科学館開館20周年記念事業
化石展 島根で見つかる化石たち」における「探して観察！出雲化石」
日時：3月25日（土）
場所：出雲科学館，小田海岸ほか
講師：入月俊明（島根大学学術研究院環境システム科学系教授）
- 9) 小中高生教育活動等講師実績
①島根大学 STEAM教育高大接続「EASTサイエンスディ」公開講座
松江北高校・松江南高校「イカ学入門」
日時：7月25日（月）
場所：島根大学
講師：広橋教貴（島根大学学術研究院環境システム科学系教授）
②松江南高校探求科学科校外研修「島根半島の地質」
日時：9月12日（月）
場所：松江南高校、桂島（松江市島根町）
講師：入月俊明（島根大学学術研究院環境システム科学系教授）
大平寛人（島根大学学術研究院環境システム科学系准教授）
③出雲市四絡小学校「学校のまわりの地そうと化石」
日時：10月25日（火）
場所：四絡小学校（出雲市）
講師：入月俊明（島根大学学術研究院環境システム科学系教授）

10) 学校におけるジオパーク課外授業の講師

①松江市教研理科部研修会「千酌海岸の地層見学」 日程：8月5日（金） 講師：辻本 彰 対象：松江市小学校教員	②意宇川における川学習の事前学習講師 日程：8月31日（水） 講師：辻本 彰 対象：松江市立乃木小学校5年生児童
③意宇川における川学習の事前学習講師 日程：8月31日（水） 講師：辻本 彰 対象：松江市立意東小学校5年生児童	④意宇川における川学習の講師 日程：9月8日（木） 講師：辻本 彰、野村 律夫 対象：松江市立乃木小学校5年生児童

⑤意宇川における川学習の事前学習講師 日程：9月12日（月） 講師：辻本 彰、野村 律夫 対象：松江市立津田小学校5年生児童	⑥意宇川における川学習の事前学習講師 日程：9月13日（火） 講師：辻本 彰 対象：松江市立持田小学校5年生児童
⑦意宇川における川学習の講師 日程：9月16日（金） 講師：辻本 彰、野村 律夫 対象：松江市立持田小学校5年生児童	⑧意宇川における川学習の講師 日程：9月21日（水） 講師：辻本 彰 対象：松江市立津田小学校5年生児童
⑨意宇川における川学習の講師 日程：9月26日（月） 講師：辻本 彰 対象：松江市立意東小学校5年生児童	⑩千酌海岸における地層学習の講師 日程：9月30日（金） 講師：辻本 彰、野村 律夫 対象：松江市立乃木小学校6年生児童
⑪須々海海岸における地層学習の講師 日程：10月3日（月） 講師：辻本 彰 対象：松江市立内中原小学校6年生児童	⑫千酌海岸における地層学習の講師 日程：10月3日（月） 講師：野村 律夫 対象：松江市立乃木小学校6年生児童
⑬須々海海岸における地層学習の講師 日程：10月4日（火） 講師：辻本 彰 対象：松江市立内中原小学校6年生児童	⑭意宇川における川学習の講師 日程：10月11日（火） 講師：辻本 彰 対象：松江市立法吉小学校5年生児童
⑮意宇川における川学習の講師（雨天のため室内講義） 日程：10月11日（火） 講師：野村 律夫 対象：松江市立意東小学校5年生児童	⑯千酌海岸における地層学習の講師 日程：10月20日（木） 講師：辻本 彰 対象：松江市立津田小学校6年生児童
⑰須々海海岸における地層学習の講師（雨天のため室内講義） 日程：10月25日（火） 講師：辻本 彰 対象：松江市立揖屋小学校6年生児童	⑱意宇川における川学習の講師 日程：10月26日（水） 講師：辻本 彰 対象：松江市立竹矢小学校5年生児童
⑲須々海海岸における地層学習の講師 日程：10月27日（木） 講師：辻本 彰 対象：松江市立法吉小学校6年生児童	⑳須々海海岸～桂島における地層学習の講師 日程：11月22日（火） 講師：辻本 彰 対象：松江市立宍道小学校6年生児童

(3) 出雲市議会ジオパーク推進協議会

渡邊一枝ジオガイドによる講座や日御碕ビジターセンターの見学が行われた。

日時：12月21日（水）11:00～14:10

会場：日御碕コミュニティセンター、日御碕ビジターセンター

参加者：出雲市議会正副議長、ジオパーク推進協議会議員13人

(4) 松江市公民館

1) わがまち自慢マップ町内散策

島根公民館主催事業

日程：8月2日（火）9:30～15:30

内容：大碓川辺神社、須々海海岸、海鳥（御影の石垣）、潜戸遊覧船、加賀別所、野波、小波、マリンパーク多古鼻、沖泊、瀬崎、野井を散策

参加者：17人

2) ジオパーク学習会

美保関公民館主催事業

日時：6月19日（日）9:00～14:45

内容：松江ビジターセンター、多古鼻、海の楽校、千酌海岸巡り
参加者：12人

(5) 出雲市コミュニティセンター

1) ジオの魅力と未来に残したい町並み

遙岨コミュニティセンター自主企画事業

日程：9月13日(火)

内容：小伊津地区フィールドワーク、四十二浦巡り(立石神社、一畑薬師)

講師：服部昌幸 佐香コミュニティセンター長(認定ジオガイド)

参加者：20人

2) ジオパーク講演会

荒木コミュニティセンター自主企画事業

日程：2月18日(土)

会場：荒木コミュニティセンター

講師：野村専門員

参加者：39人

3) 出雲市佐香地区ジオパーク活動

地球環境保全活動、ジオパーク学習 年間26件

(6) 出雲科学館

1) 小学5年生理科学習「流れる水のはたらき」 3単位時間(45分×3)

日程：10月14日(金)～10月27日(木)

参加者：60学級 1,555人

2) 中学1年生理科学習「火をふく大地」 3単位時間(45分×3)

日程：2月2日(木)～2月13日(月)

参加者：49学級 1,392人

3) 理科教員研修 地質研修

日時：8月6日(土)8:30～16:10

内容：鹿島(グリーンタワー等)→玉湯(メノウ公園)→来待ストーン→小田海岸(化石)

→朝山(鞍掛岩等)

講師：島根大学大学院 教授 松本一郎 氏

参加者：13人

4) 大人のための理科学習「火をふく大地」

日程：2月12日(日)

内容：中学1年生「火をふく大地」の単元、三瓶山の火山灰や岩石などを観察

参加者：18人

5) 子ども科学学園でのフィールドワーク学習

「斐伊川探検 一流水と岩石がおりなす科学的造形美の世界へー」

日程：10月23日(日)、30日(日)

内容：斐伊川の下流域から上流域にかけて、バス移動をしながらその場所の特徴や今の地形となった背景などを学ぶ。

講師：島根大学大学院 教授 松本一郎 氏

参加者：小学生クラス：22人、中学生クラス：16人（内小学6年生11人）

6) 化石展 島根で見つかる化石たち

期間：3月18日(土)～4月16日(日)

内容：出雲・島根産の化石や国内外で採取された化石や関連パネルの展示及び関連教室の開催

(7) 清掃活動

1) 宍道湖一斉清掃

日程：6月12日(日)

参加者：松江市6,048人、出雲市758人

ごみ回収量：松江市約11.65t、出雲市約0.92t

2) 地域団体等による海岸清掃事業

実施回数：松江市233回、出雲市115回

参加者：松江市延べ6,154人、出雲市延べ4,437人

ごみ収集量：松江市約78.2t、出雲市約60t

(8) 出雲市による築地松広報活動・保全活動

1) 広報事業

広報誌発行(42,000部)、HPでのPR、サービスエリアでのパンフレット配布

ボランティアガイド(築地松案内人)2人：R4案内実績8件(約58人)

築地松ライトアップイベント(来場者450人)

2) 保全事業

築地松景観保全住民協定締結 155協定、3,233人、3,097.62ha

住民協定助成金交付 343件

陰手刈り技術研修会 講師4人 受講者10人

松苗配布 147本(配布人数40人)《前年度163本、44人》

(9) 養浜事業、海岸植物保全事業

1) 菌の長浜土砂管理計画に基づく養浜(県事業)

県東部農林水産振興センター及び西部農林水産振興センターが施工している漁港浚渫した砂を、出雲市西園地区海岸に養浜した。外園海岸における浸食防止対策を目的とし養浜を実施。

2) 外園海岸「ハマボウフウ」の保全・育成活動（出雲農林高校）

出雲市長浜地区の「外園海岸」（全長約4キロ）で、地域住民と出雲農林高校、県と市が共同して海浜植物「ハマボウフウ」の増殖計画を進めている。毎年、地域住民、長浜小学校児童、出雲農林高校、県、市で現地に植え付けを実施している。

この活動は、地域住民を中心に、出雲農林高校、長浜小学校の協力を得て、近年、大幅に減っているハマボウフウの保護による環境保全と、食用としても珍重されるハマボウフウの特産化も将来目指していく。

(10) 山陰中央新報 週刊さんいん学聞（まなぶん）への定期掲載

令和4年度1年間を通じて全27回が掲載された。

4月6日	半島最古の地層古浦層	7月27日	瀬崎のヒョウタン池	11月30日	地誌にも出る赤浦海岸
4月20日	野井の軍艦島（大津島）	8月10日	加賀の潜戸鼻	12月14日	坂浦港周辺の見所
5月4日	須々海海岸の洗濯岩	8月24日	多古鼻周辺	12月28日	溪谷美誇る立久恵峡
5月18日	手結浦のスランプしゅう曲	9月7日	日御碕の柱状節理	1月11日	中海に浮かぶ大根島
6月1日	弥山のごえんゴウロ	9月21日	稲積の麻仁祖山	1月25日	和久羅山と嵩山
6月15日	大社湾の礫島	10月5日	小伊津の洗濯岩	2月8日	意宇川切り通しと旧河道
6月29日	惣津海岸の波食棚	10月24日	唯浦の直立層	2月22日	宍道湖南岸に分布の来待石
7月6日	ジオパークイチ押しスポット紹介	11月2日	加賀の桂島	3月8日	花仙山のめのう
7月13日	千酌湾のカスカ島	11月16日	断層がある千酌海岸	3月22日	山地の間に並んだ出雲平野、宍道湖、中海



第2号報告 島根半島・宍道湖中海ジオパークアクションプラン

重点取組とKPI（重要業績評価指標）の令和4年度進捗状況

令和5年2月末時点

1 重点取組

項目	内容	スケジュール	2022(令和4)年度進捗状況
保全・保護するサイトの保全管理計画の策定	すべての地質・地形サイトに共通する保全の理念に基づいて評価基準を決定し、その評価基準に基づいて達成状況を可視化できるように、別途「島根半島・宍道湖中海ジオパークサイト保全管理計画」を策定します。	2022(令和4)～2023(令和5)	・2023(令和5)年度策定に向け、他ジオパーク保全管理計画の収集などを行った。
地域住民や来訪者への行動規範の作成・周知	ジオサイトや自然環境、動植物などが保全・保護すべき貴重な地域資源があることや観光公害の課題、レスポンシブルツーリズム(責任ある観光)について、地域住民や来訪者に対して、ホームページやジオツアー、研修会などを通じて周知します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・桂島園地内における植生保護やごみの持ち帰りなどの注意喚起を図る看板2枚を設置した。 ・8月に桂島で実施したジオパーク探検隊などで貴重な動植物について普及した。
ジオパーク教育プログラム作成(副読本制作、小中高生への教育)	現地学習用テキストの作成やジオパークエリア内にある教育施設の活用について検討し、地質をベースとした地域の歴史・文化の発展を考え、自然環境保護や活用方法について学ぶことのできる教育プログラムを作成して、子ども達が実際の体験から大地の成り立ちと自分たちの暮らしのつながりを感じ、学ぶ機会を創出します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・松江市美保関町千酌海岸用の学習補助資料(副読本)の原稿を作成した。 令和5年度に印刷し、松江市・出雲市の全小中学校に配布予定。
地域住民向け自然災害対策に特化した教育プログラム実施	全国のジオパークや地域の公民館、コミュニティセンター、その他地域団体が実施している自然災害対策に関する優良事例を調査し、教育プログラムを作成します。 作成した教育プログラムに基づいて、行政や島根大学等の関係機関と連携しながら、地域住民向けの講座やフィールドワークを実施します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・地域住民向け自然災害対策に特化した教育プログラムを作成するため、全国の防災教育の現状調査を実施した。
ジオパークエリアに入ったことが分かる看板設置	2021(令和3)年度に実施した看板設置候補地調査の報告等を活用し、来訪者が、当地域に訪れたことが容易にわかるような看板を多くの目に触れる場所に設置します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・看板3枚設置 「JR松江駅 懸垂幕」 「松江市東本町 新大橋北詰め」 「出雲市平田町 国道431号線沿い」
ジオパークエリア解説看板、ジオサイト等解説看板設置	来訪者が当地域の見どころを容易に巡り楽しめるよう、ジオサイト等の見どころの場所を案内するとともに、ホームページと連携させるなど工夫を凝らしたわかりやすい解説看板をジオサイトの重要性に応じた優先順位を設けて順次整備します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・該当なし (今年度は「ジオパークエリアに入ったことが分かる看板設置」に優先的に取り組んだ。)

項目	内容	スケジュール	2022(令和4)年度進捗状況
ビジターセンターやジオサイト等への誘導標識設置	来訪者が、松江ビジターセンター、日御碕ビジターセンター、ジオサイトへ容易にたどり着けるよう、見つけやすい誘導標識を設置します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・該当なし (今年度は「ジオパークエリアに入ったことが分かる看板設置」に優先的に取り組んだ。)
サイトの整理(ジオサイト、生態サイト、文化サイト、文化サイト)、サイトカードのデータベース化	これまで設定していたジオサイトの中には、危険な場所、訪れることが難しい場所、文化的なサイトなどが含まれていることから、生態サイト、文化サイトを新たに設け、ジオサイトの整理・更新を行います。また、ジオサイト等をまとめたサイトカードの整理や調査事項の追記、データベース化を行います。	2022(令和4)～2023(令和5)	・ジオサイトの見直しを行った。 ・生態サイト、文化サイトについては、2023(令和5)年度のサイトカード作成に向け、準備を始めた。
パートナーシップ協定の締結	関係機関、団体、企業とのパートナーシップ協定の締結を行い、それぞれの役割の明文化を図ることで、ジオパーク活動を一層推進します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・3件締結 「島根大学」 「加賀まるごと博物館」 「一般社団法人出雲観光協会」
ブランディング戦略の策定	「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」「国引きジオブランド」等、当地域において複数のブランドが使われているため、別途「島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略」を策定し、地域で行われている事業や活動をジオパークブランドとしてまとめ、企業・団体等の出版物や発刊物にジオパークロゴマークを使用してもらうなど、ブランドイメージの統一を徹底することで、ブランド力を向上させます。	2022(令和4)～2025(令和7)	・2023(令和5)年度の策定に向け、参考資料の収集などの準備を開始した。
旅行事業者等によるジオパークの魅力を感じるコース(ジオツアー)の商品販売	日本ジオパーク全国大会向けに作成したジオツアーのモデルコースの商品化を目指すとともに、地質遺産、自然遺産、文化遺産の持続可能な利用のための来訪者と地域住民の要望の調整や、観光をはじめとするガイド依頼の統一窓口を設置するなど、旅行事業者や観光協会との連携によるジオツアー商品販売等に取り組み、持続可能で質の高いジオツーリズムを推進します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・出雲観光協会が、チラシ製作にジオパーク普及啓発補助金を活用され、日御碕自然体感プログラムを実施された。
安全対策、防災対策マニュアルの作成	地質・地形サイトとそこへ至るツアールートにおける安全対策や地震、津波、原発事故、台風、洪水の際のツアー開催基準、対策について記述する「安全対策、防災対策共通マニュアル」を作成します。	2022(令和4)～2025(令和7)	・2023(令和5)年度の作成に向け、マニュアルを作成するジオサイトの検討などの準備を開始した。

2 KPI(重要業績評価指標)

	名称(*は重点取組)	単位		2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)
1. まもる	モニタリング実施ジオサイト件数／年度	件	目標値	5	10	15	20
			実績見込	6	—	—	—
2. しる	データ公開件数／累計	件	目標値	3	6	9	12
			実績見込	3	—	—	—
3. はぐくむ	認定ジオガイド養成数／累計	人	目標値	55	65	75	80
			実績見込	55	—	—	—
	*ジオパーク教育プログラム実施件数／年度	件	目標値	30	35	40	45
			実績見込	38	—	—	—
	*地域住民向け出前講座、ジオツアー開催回数／年度	回	目標値	3	5	7	9
			実績見込	16	—	—	—
4. つたえる	松江ビジターセンター来場者数／年度	人	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900
			実績見込	4,400	—	—	—
	日御碕ビジターセンター来場者数／年度	人	目標値	25,000	30,000	36,000	40,000
			実績見込	20,000	—	—	—
	ホームページ閲覧者数／年度	人	目標値	5,000	5,500	6,000	6,600
			実績見込	5,000	—	—	—
	*看板(総合看板、サイト看板、誘導看板含む)数／累計	基	目標値	30	35	40	45
			実績見込	34	—	—	—
5. つくる	*旅行者等主催のジオツアー開催回数／年度	回	目標値	2	3	4	5
			実績見込	3	—	—	—
6. ささえる	学術研究奨励事業補助金交付決定数／年度	件	目標値	5	6	7	8
			実績見込	2	—	—	—
	地域活動補助金(普及啓発事業等補助金・推進環境整備事業補助金)交付決定数／年度	件	目標値	12	13	14	15
			実績見込	12	—	—	—
	ジオパーク授業におけるバス借り上げ料補助金交付決定数／年度	件	目標値	27	28	29	30
			実績見込	20	—	—	—
7. むすぶ	*パートナーシップ協定の締結件数合計／累計	件	目標値	5	10	15	20
			実績見込	3	—	—	—
	ジオサポ会員数／年度	人	目標値	450	455	460	465
			実績見込	399	—	—	—
	JGN関係会議、研修会等への参加人数／年度	人	目標値	5	7	9	11
			実績見込	28	—	—	—

KPI全項目16	うちKPI達成項目 10(63%)
	KPI未達成項目 6(37%)

第3号報告 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会

令和4年度一般会計決算見込

令和5年2月末現在

歳入

(円)

項目	当初予算額①	決算見込額②	差引(②-①)	摘要
松江市・出雲市負担金	16,000,000	16,000,000	0	松江市・出雲市各8,000,000円
半島振興広域連携促進事業	7,000,000	7,000,000	0	国補助金
自然公園を活用した誘客促進事業	550,000	956,000	406,000	島根県補助金
前年度繰越金	3,957,000	4,224,767	267,767	
会費	450,000	469,000	19,000	ジオサポ会費収入
寄付金	0	200,000	200,000	株式会社山陰合同銀行
雑収入	838,000	1,230,261	392,261	ポロシャツ販売収入等
合計	28,795,000	30,080,028	1,285,028	

歳出

(円)

項目	当初予算額①	決算見込額②	差引(②-①)	摘要
総務費	8,806,000	7,859,938	△ 946,062	
会計年度任用職員等 人件費	4,710,000	3,860,756	△ 849,244	・事務局員（会計年度任用職員）1名人 件費 ・非常勤専門員1名人件費
事務局運営費	4,096,000	3,999,182	△ 96,818	・JGN年会費 ・事務局専用車リース・燃料代 ・ビジターセンタースタッフ人件費・ 管理費 ・次期推進行動計画作成費 等
事業費	19,989,000	21,246,286	1,257,286	
調査・研究・交流	2,763,000	3,696,099	933,099	・JGN通常総会・全国大会・全国研修 会・中四国近畿ブロック研修会参加旅 費 ・3ジオパーク（隠岐、山陰海岸、島根 半島・宍道湖中海）連携事業費 ・パートナーシップ協定締結費 ・ロングトレイルコース調査費 ・ジオサイトモニタリング費 等
広報・宣伝	7,702,000	7,735,672	33,672	・会報誌作成費 ・子ども用ガイドマップ作成費 ・看板整備費 ・ジオパークの日イベント実施費 ・ポロシャツ製作費 等
普及啓発・教育活動	9,524,000	9,814,515	290,515	・桂島ジオパーク探検隊開催費 ・防災・減災シンポジウム開催費 ・学術研究奨励事業補助金 ・地域活動補助金 ・ジオ授業バス借上料補助金 ・ジオガイド養成講座開催費 ・ジオガイドスキルアップ研修、認定 更新研修開催費 等
合計	28,795,000	29,106,224	311,224	

次年度繰越額

973,804

第1号議案 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会
令和5年度事業計画（案）

令和5年度事業計画における重点取組の考え方

(1) 令和3年度日本ジオパーク再認定審査で指摘された「できるだけ早く解決すべき課題（2年以内）」のうち、未着手の課題に取り組みます。

①ジオサイト保全管理計画の策定

(2) 今年度策定したアクションプランの重点取組のうち、未着手の事業に取り組みます。

①生態及び文化サイトカードの作成

②ジオサイト保全管理計画の策定

③地質・地形サイトとそこへ至るツアールートにおける安全対策の明文化とその徹底

④島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略の策定

〔重点取組〕

1. 調査・研究・交流事業 1,133千円

(1) 生態及び文化サイトカードの作成

再認定審査の指摘事項

アクションプラン重点取組

(2) ジオサイト保全管理計画の策定

再認定審査の指摘事項

アクションプラン重点取組

(3) 地質・地形サイトとそこへ至るツアールートにおける安全対策の明文化とその徹底

再認定審査の指摘事項

アクションプラン重点取組

2. 広報・宣伝事業 0円

(1) 島根半島・宍道湖中海ジオパークブランディング戦略の策定

再認定審査の指摘事項

アクションプラン重点取組

〔重点取組以外〕

1. 調査・研究・交流事業 3,027千円

(1) エリア内の関係団体等とのパートナーシップ協定締結

再認定審査の指摘事項

アクションプラン重点取組

・アクションプランのKPI：令和5年度5件

(2) ジオサイトのモニタリング

再認定審査の指摘事項

・アクションプランのKPI：毎年度5件実施

(3) 地域のジオパークに関する活動（ツアー、清掃活動、アクティビティ等）の把握とリスト化

再認定審査の指摘事項

(4) JGN全国大会や全国研修会、通常総会等への参加、3ジオパーク（隠岐、山陰海岸、島根半島・宍道湖中海）連携事業等

・アクションプランのKPI：令和5年度JGN会議等参加人数7名

(5) 島根半島・宍道湖中海ジオパークサポーター（ジオサポ）加入促進

・アクションプランのKPI：令和5年度455名

(6) 気候変動、災害情報等の情報収集、データベース化

2. 広報・宣伝事業 5,918千円

(1) ジオパークエリアに入ったことが分かる看板等整備

再認定審査の指摘事項 アクションプラン重点取組

・アクションプランのKPI：令和7年度まで毎年度5件作成

(2) ジオパーク会報誌の制作・印刷（年3回）

(3) ジオパークパンフレットのリニューアル

(4) 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会ホームページのリニューアル

(5) ジオパークオリジナルポロシャツ販売

(6) その他広報関係（スポーツイベント協賛、ジオパークの日イベントの開催等）

3. 普及啓発・教育活動 8,273千円

(1) 地域住民向け自然災害対策に特化した教育プログラムの作成

再認定審査の指摘事項

(2) ジオツアー商品販売 アクションプラン重点取組

・アクションプランのKPI：令和5年度3回実施

(3) 小学生向け自然体験イベントの開催

(4) 松江市美保関町千酌海岸用のジオパーク学習補助資料（副読本）の印刷・製本

再認定審査の指摘事項

(5) 島根半島を横断するロングトレイルコースの検討（現地調査による実態の把握、関係者へのヒアリング、他のロングトレイルコースの情報収集）

(6) 島根大学の活動支援

(7) ジオガイド養成講座の開催と認定試験の実施

・アクションプランのKPI：令和5年度ジオガイド65名

(8) ジオガイドスキルアップ講座と認定更新研修会の開催

(9) 各種補助金

・学術研究奨励事業補助金

アクションプランのKPI：令和5年度6件

・地域活動補助金（普及啓発助成、推進環境整備助成）

アクションプランのKPI：令和5年度13件

・ジオパーク授業で使用するバス借上料補助金

アクションプランのKPI：令和5年度28件

※予算としては、上記以外に総務費（管理運営費）6,685千円あり

(1) 事務局員1名分及び専門員1名分人件費

(2) 日本ジオパークネットワーク（JGN）年会費、松江ビジターセンター管理費等の事務局運営費

第2号議案 島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会

令和5年度一般会計予算（案）

歳入

（千円）

項目	令和5年度 予算額①	令和4年度 予算額②	差引 (①-②)	摘要
松江市・出雲市負担金	16,000	16,000	0	松江市・出雲市各8,000千円
半島振興広域連携促進事業	6,420	7,000	△ 580	国庫補助金（補助率1/2）
自然公園を活用した誘客促進事業	350	550	△ 200	島根県補助金（補助率1/2）
会費	455	450	5	ジオサポ会費収入
雑収入	838	838	0	ポロシャツ販売収入等
前年度繰越金	973	3,957	△ 2,984	
合計	25,036	28,795	△ 3,759	

歳出

（千円）

項目	令和5年度 予算額①	令和4年度 予算額②	差引 (①-②)	摘要
管理運営費	6,685	8,806	△ 2,121	
会計年度任用職員 等人件費	3,930	4,710	△ 780	・事務局員（会計年度任用職員）1名人件費 ・非常勤専門員1名人件費
事務局運営費	2,755	4,096	△ 1,341	・JGN年会費 ・事務局専用車リース・燃料代 ・ビジターセンタースタッフ人件費・ 管理費 等
事業費	18,351	19,989	△ 1,638	
調査・研究・交流	4,160	2,763	1,397	・JGN通常総会・全国大会・全国研修 会・中四国近畿ブロック研修会参加旅 費 ・3ジオパーク（隠岐、山陰海岸、島根 半島・宍道湖中海）連携事業費 ・文化、生態サイトカード作成費 ・ジオサイトモニタリング費 等
広報・宣伝	5,918	7,702	△ 1,784	・会報誌作成費 ・看板整備費 ・ジオパークの日イベント実施費 ・ポロシャツ作成費 等
普及啓発・教育活 動	8,273	9,524	△ 1,251	・小学生向け自然体験学習イベント開 催費 ・防災教育プログラム作成費 ・千酌海岸用学習補助資料（副読本） 印刷費 ・学術研究奨励事業補助金 ・地域活動補助金 ・ジオ授業バス借上料補助金 ・ジオガイド養成講座開催費 ・ジオガイドスキルアップ研修、認定 更新研修開催費 等
合計	25,036	28,795	△ 3,759	

（名称）

第1条 この協議会は、島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目的）

第2条 協議会は、島根半島や宍道湖、中海周辺地域（以下「本地域」という。）の地層・岩石・火山に見られる地質学的に貴重な場所を基盤として、そこに息づいてきた人々の歴史・神話・文化を有機的に結び付けたジオパークを目指すものとする。

そして、世界ジオパークネットワークのガイドラインに沿ったジオパーク活動を継続的に推進することで、地域貢献に寄与していくことを目的とする。

（事業）

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 本地域における地質学的、生態学的、考古学的、歴史的、文化的調査研究に関する事業
- (2) 本地域における自然環境の保護、自然災害、歴史・神話・文化等の地域教育に関する事業
- (3) 本地域に根ざしたジオパーク資源を活用した産業啓発、観光及びビジネスに関する事業
- (4) 本地域のジオパークの運営、保全、管理及び発展に必要な事業
- (5) ジオパーク関係団体との情報交換及び連絡調整に関する事業
- (6) 上記事業を達成するための地域連携や情報発信に関する事業
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

（会員）

第4条 協議会は、協議会の目的に賛同する団体及び個人である会員をもって構成する。

（役員）

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 3名
 - (3) 会長代行 1名
 - (4) 監事 2名
- 2 会長及び副会長は会員の互選とし、総会において選出する。
 - 3 副会長の中から会長代りを総会において選出する。
 - 4 監事は、松江市、出雲市の会計管理者とする。
 - 5 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 6 欠員により補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

（役員職務等）

第6条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

- 3 会長代行は、会長が認めるときに会長職を代行する。
- 4 監事は、協議会の会計及び会務を監査する。

(顧問)

- 第7条 協議会に顧問を置くことができる。
- 2 顧問は、会長が委嘱し、次の総会に報告するものとする。
 - 3 顧問は、協議会に対し、必要に応じて助言を行う。

(会議)

- 第8条 本協議会における会議は、総会、幹事会及び専門部会とする。
- 2 定例総会は、毎年1回開催する。
 - 3 臨時総会は、必要に応じ開催する。
 - 4 幹事会は、必要に応じ開催する。
 - 5 専門部会は、必要に応じ開催する。

(総会)

- 第9条 総会は、次の事項を審議し、議決する。
- (1) 規約の制定及び改廃
 - (2) 事業計画及び収支予算に関する事項
 - (3) 事業報告及び収支決算に関する事項
 - (4) その他運営委員会が必要と認める事項
- 2 総会は、会長が招集し、会長が議長となる。
 - 3 総会は、会員の過半数の出席（委任状を含む）がなければ開くことができない。
 - 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
 - 5 会長は、必要に応じて関係者に総会への出席を求めることができる。
 - 6 総会は、会長が認める場合、書面をもって開催したとみなすことができる。

(幹事会)

- 第10条 協議会の具体的な運営、事業を推進するため、幹事会を置く。
- 2 幹事会は、次の各号に掲げる事項を協議する。
 - (1) 地質・地形遺産の研究に関すること
 - (2) 歴史・神話・文化に関すること
 - (3) 旅行・交通に関すること
 - (4) マスメディア・圏域メディアに関すること
 - (5) 商工・観光に関すること
 - (6) 農林水産業・食品に関すること
 - (7) 環境保全・防災に関すること
 - (8) 地域活動に関すること
 - (9) ミュージアム（学術的展示施設等）の連携に関すること
 - (10) その他会長が必要と認める事項
 - 3 幹事会は、会長代行、行政の代表、部会の代表で構成する。
 - 4 幹事会に幹事長を置き、会長代行が幹事長となる。

- 5 幹事会は、幹事長が招集し、その議長となる。
- 6 幹事長は、幹事会の事務を掌理する。

(専門部会)

第 11 条 協議会は、事業を推進するにあたり、専門部会を置き、分野別の課題を整理・検討する。

- 2 専門部会の構成及び所掌事項は、別表のとおりとする。
- 3 専門部会に部会長及び副部会長を置き、会長が指名した者をもって充てる。
- 4 専門部会は、部会長が招集し、会の進行を行う。
- 5 部会長は、専門部会の事務を掌理する。

(事務局)

第 12 条 協議会の庶務を処理するため、松江市、出雲市及び島根大学で事務局を構成し、松江市文化スポーツ部内に置く。

(財務)

第 13 条 協議会の運営に必要な経費は、負担金及び島根半島・宍道湖中海ジオパークサポーター会費収入、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第 14 条 協議会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日をもって終わる。

(会長の専決処分)

第 15 条 会長は、総会を招集する時間がないとき、又は総会の権限に属する事項で軽易なものについては、その議決すべき事項について、これを専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会に報告し、その承認を得なければならない。

(補則)

第 16 条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成 28 年 3 月 29 日から施行する。

(最初の役員任期の特例)

- 2 この規約の施行後に最初に選任される役員の任期は、第 5 条第 5 項の規定にかかわらず、施行日から平成 30 年 3 月 31 日までとする。

附 則 (名称変更)

この規約は、平成 28 年 11 月 1 日から適用する。

附 則 (幹事会の設置)

この規約は、平成 29 年 3 月 17 日から適用する。

附 則 (名称変更)

この規約は、平成 29 年 11 月 21 日から適用する。

附 則（財務の変更）

この規約は、令和 2 年 8 月 3 日から適用する。

附 則（事務局の変更）

この規約は、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。

別表（第 11 条関係）

専門部会名	所掌事項
学術・研究部会	ジオ環境の研究に関すること 歴史・神話・文化に関すること
観光・広報部会	旅行・交通に関すること マスメディア・圏域メディアに関すること 商工・観光に関すること 農林水産業・食品に関すること
保全・教育部会	環境保全・防災に関すること 地域活動に関すること ミュージアム（学術的展示施設等）の連携に関すること